

# 平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	健康で互いに支え合うまちづくり	分野(章)番号	3
政策名(項)	地域福祉の推進	政策(項)番号	Ⅲ
施策名(目)	地域福祉推進体制の強化	施策(目)番号	④
担当課	保健福祉課	担当課長	谷津 俊幸

## 1. 施策の基本方針

施策目的	・地域福祉の中心的な担い手である社会福祉協議会や民生児童委員協議会の活動を支援するとともに、地域のボランティア組織を育成し、住民参加型の地域社会を形成することを目的とする。
------	--

## 2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)							
	・各団体とも自主財源が少ないため財政基盤が弱く、町からの補助金が必要。	・ボランティア団体の育成を社会福祉協議会が行っている。 ・少子高齢化や核家族化が進み介護力、子育て力が低下しており、生活に不安を抱える者が増加している。また、障害者の社会参加へのニーズも高まっており、これからは、年齢や性別、障害の有無にかかわらず住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域ぐるみで支え合っていく体制の整備が求められている。							

  

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標	備考(他団体状況含む)	
主要	ボランティア連絡会登録団体数	目標			25団体	25団体	25団体		
		実績	25団体	25団体	24団体			25団体	
		達成率			96%				
参考①	ボランティア連絡会登録会員数	目標			585人	600人	600人		
		実績	552人	541人	508人			600人	
		達成率			87%				
参考②		目標							
		実績							
		達成率							
参考③		目標							
		実績							
		達成率							
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

## 3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		30,270千円	29,950千円	30,765千円	29,836千円	31,202千円	31,202千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	44千円	千円	48千円	172千円	48千円	48千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	30,226千円	29,950千円	30,717千円	29,664千円	31,154千円	31,154千円
従事者数	正職員	0.12人/年	0.30人/年	0.50人/年	0.50人/年	0.25人/年	0.25人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	808千円	2,046千円	3,395千円	3,395千円	1,697千円	1,697千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		104千円	281千円	455千円	455千円	227千円	227千円
トータルコスト		31,182千円	32,277千円	34,615千円	33,686千円	33,126千円	33,126千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	c	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]	・ボランティア団体数及び会員数は減少傾向にあり、目標の達成度はやや低い。	
	施策成果向上の可能性	a	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]	・ボランティア団体が活動しやすい体制づくりを進めることにより、ボランティア団体と会員数の増加が期待できるので、可能性は十分にある。	
	貢献度	a	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]	・社会福祉協議会又はボランティア団体が多種多岐にわたって活動していることから、地域福祉の推進における貢献度は非常に高い。		

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸森町社会福祉協議会の補助は人件費の補助であり、事業の効率的な運営、自主財源の確保等の課題がある。</li> <li>・ボランティア団体会員の高齢化が進んでおり、会員数も減少する傾向が見られる。</li> </ul>
----	--

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ボランティア団体は、住民ニーズに応じた活動をしており、地域の福祉において重要な役割を果たしており、また、新たにボランティア連絡会に登録していない団体や個人ボランティアもあることが分かり、ボランティアの広がりが出来ているので、今後も側面的な支援を委託事業を通じて継続していく。</li> </ul>
------	------------------------	---------	---

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。  
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。